## 長町病院 クリニカルインディケーター(臨床指標)

クリニカルインディケーター (臨床指標) とは、病院の機能や診療の状況などについて、様々な指標を用いて具体的な数値として示したものです。指標を分析し、改善を促すことにより、医療の質の向上を図るとともに、患者さんにとって分かりやすい医療情報を提供することを目的としています。

〇印の臨床指標は長町病院の独自項目です。

また、当院は、差額室料(差額ベット代)をいただかず、\*無料低額診療事業を実施しています。地域連携・医療相談室の医療ソーシャルワーカーが相談窓口となっています。

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度	2024年度	・ ウ羔 指揮計算させ等	11日 ついに
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等 延べ入院患者数:退院患者	説明コメント
	44,660 人	44,309 人	44,556 人	45,687 人	46,039 )	数+当日末在院患者数	1年間の延べ入院患者及び1年間の延べ
	39,029 人	37,542 人	35,599 人	36,324 人	35,698 J	人 延べ外来患者数:初診患者 数+再診患者数	・   来患者数です。
	一般病床					3X 1 17 10 10 10 3X	
	17.4 日	18.1 日	18.8 日	17.4 日	16.6 E	平均在院日数:延在院患者 数÷((新入院患者数+退	
ᄺᇰᆲᄜᅭᇦᇦᆓ	回復期リハビリ症					<ul><li>□ 数÷((新人院思名数+返 院患者数)÷2)※地域包括</li></ul>	のかを示す指標です。地域の医療機関や      ↑
延べ入院·外来 患者数	79.2 日		83.2 日	81.3 日	82.8 E	病床を除く	退院できるように努めています。
平均在院日数 病床利用率(運用病床)	(一般病床)	75.1 Ц	00.2 Ц	01.0 Д	02.0 F	-	
内体利用学(建用内体)	74.07 %	81.33 %	77.72 %	79.50 %	80.24 %		病床利用率とは運用病床数(当院は許可
-	(回復期リハΙ)	81.33 %	11.12 %	79.50 %	80.24 %	″o ──病床利用率∶延入院患者数	病床すべて運用)に対し入院患者がどの らいの割合で入院していたかを示す指標
		01.50.0/	0400 04	0400 0/	07.10.0	÷延運用病床数×100 %(病床機能報告制度の区	あり、病床利用率が高いことは、ベットを
	93.67 %	91.52 %	94.06 %	94.69 %	97.16 9	一分)	率的に運用していることを表しています。 床の機能により違いがあるため、一般、[
-	(回復期リハⅡ)	###### O.	## <b></b> +-1	# a.	##### A	_	復期リハ病床別に率を出しています。
	算定なし %	算定なし %	算定なし %	算定なし %	算定なし 9		
〇在宅療養支援病院 訪問診療 等の訪問数	1,632 件	1,921 件	1,267 件	1,039 件	1,246 华	在宅管理患者宅に訪問した   件数(連携する訪問看護の   訪問数含む)7月1日統計	
剖検率	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	年間剖検数÷年間患者死 亡数	当院で死亡された患者さんの中で病理所 割された割合。死亡の原因や治療の効勢 を確かめ、今後の医療に役立てていく意 があります。
CPC(臨床病理検討会)実施件数	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	年度内の開催実績数	医療の質向上を図るために行っている、 強会の1つであるCPC(臨床病理検討会 開催した件数です。
クリニカルパス実施状況	50.06 %	45.21 %	46.57 %	45.22 %	45.79 9	後 実施率:パス運用件数÷新 入院患者数	入院から退院までの治療や処置、検査、 護などのスケジュールを時系列に示した リニカルパスの作成を通じて、わかりやす 均質で無駄のない医療の提供に努めてします。
〇原発被爆検診エコー画像検討 会実施件数	6 件	5 件	2 件	5 件	3 4	牛 年度内の開催実績数	福島県双葉町・浪江町からの委託で原身 被害者の甲状腺エコー検診および相談 実施しています。読影検討会を複数医師 検査技師とで開催した件数です。
〇慢性疾患管理登録患者数	3,827 人	3,728 人	3,555 人	2570	2.520	定期的通院患者で管理登録	わが国では、高齢化、核家族化(独居の: 加)が進む中、複合疾患をもち、重症化し 慢性疾患を有する方が増えています。こ。 ような方の安心、安全な療養を実現する:
<b>○以</b> 止∧心自在五环心甘以		3,723	0,000	3,579 人	3,536 )	実施数	* おかんかりない、ままない表とであり、 めに、当院では、かかりつけ患者さんの で定期的な通院が必要な患者さんを登録 せていただき、他職種恊働で支援させて ただいています。
○通所リハビリ患者数	7,285 人		6,062 人	5,521 人			めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登録せていたさき、他職種協働で支援させてたださいではます。
1		7,294 人			5,514 <i>J</i>	実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登録せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利用数です。
〇通所リハビリ患者数	7,285 人	7,294 人	6,062 人	5,521 人	5,514 <i>J</i>	実施数  【延べ患者数(利用者数)  延べ患者数(利用者数)  延べ患者数(利用者数)  自治体の公費による乳児優 診実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登けせていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1 小児科で実施しています公費による乳児診の実施数です。
○通所リハビリ患者数 ○訪問リハビリ患者数	7,285 人	7,294 人 6,327 人 43 人	6,062 人	5,521 人	5,514 J 6,900 J	実施数  延べ患者数(利用者数)  延べ患者数(利用者数)  自治体の公費による乳児優  診実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登録せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1 小児科で実施しています公費による乳児診の実施数です。
○通所リハビリ患者数     ○訪問リハビリ患者数     ○乳児健診数     ○小児予防接種実施件数     ○健診数	7,285 人 6,119 人 29 人	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人	6,062 人 6,367 人 68 人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人	5,514 J 6,900 J 91 J 690 J	実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1・小児科で実施しています公費による乳児診の実施数です。  1・小児科で実施しています公費による予り種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健
○通所リハビリ患者数     ○訪問リハビリ患者数     ○乳児健診数     ○小児予防接種実施件数     ○健診数     診療科目に関する指標	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人	5,514 J 6,900 J 91 J 690 J	実施数      延べ患者数(利用者数)      延べ患者数(利用者数)      はごま者数(利用者数)      自治体の公費による乳児優診実施数      は診実施数      は対象の予防接種実施数      は砂実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利月数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利月数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利月数です。  1小児科で実施しています公費による乳児診の実施数です。  1小児科で実施しています公費による予り種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診バスも所有し、9健診も実施しています。
○通所リハビリ患者数     ○訪問リハビリ患者数     ○乳児健診数     ○小児予防接種実施件数     ○健診数     診療科目に関する指標     指標項目	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人	5,514 J 6,900 J 91 J 690 J	実施数      延べ患者数(利用者数)      延べ患者数(利用者数)      はいまる数(利用者数)      自治体の公費による乳児優齢実施数      はいの公費による小児利力齢の予防接種実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登けていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  2 小児科で実施しています公費による予防種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診バスも所有し、タ
○通所リハビリ患者数     ○訪問リハビリ患者数     ○乳児健診数     ○小児予防接種実施件数     ○健診数     診療科目に関する指標	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人 2020年度	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人	5,514 J 6,900 J 91 J 690 J	実施数      延べ患者数(利用者数)      延べ患者数(利用者数)      は自治体の公費による乳児優      診実施数      は自治体の公費による小児科      対象の予防接種実施数      健診実施数      定義、指標計算方法等	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利月数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利月数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利月数です。  1小児科で実施しています公費による乳児診の実施数です。  1小児科で実施しています公費による予り種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診バスも所有し、9健診も実施しています。
○通所リハビリ患者数     ○訪問リハビリ患者数     ○乳児健診数     ○小児予防接種実施件数     ○健診数     診療科目に関する指標     指標項目     疾病別患者数及び田均在院日数	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人 2020年度	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人 2021年度	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人 2022年度	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人 2023年度	5,514 / 6,900 / 91 / 690 / 4,539 / 2024年度  16 / 在院日数	実施数      延べ患者数(利用者数)      延べ患者数(利用者数)      は一直による乳児(を変しまる乳児(を変しまる)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利月数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利月数です。  1・小児科で実施しています公費による乳児診の実施数です。  1・小児科で実施しています公費による予り種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診バスも所有し、外健診も実施しています。
○通所リハビリ患者数 ○訪問リハビリ患者数 ○乳児健診数 ○小児予防接種実施件数 ○健診数 診療科目に関する指標 指標項目 疾病別患者数及び田均在院日数 (A00~B99)	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人 2020年度	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人 2021年度 18 在院日数 32.7 日	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人 2022年度	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人 2023年度 11 在院日数 14.5 日	5,514 / 6,900 / 91 / 690 / 4,539 / 4,539 / 在院日数 29.7 F	実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  2 小児科で実施しています公費による予防種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診パスも所有し、外健診も実施しています。健診パスも所有し、外健診も実施しています。
○通所リハビリ患者数     ○訪問リハビリ患者数     ○乳児健診数     ○小児予防接種実施件数     ○健診数     診療科目に関する指標     指標項目     疾病別患者数及び田均在院日数     (A00~B99)     感染症・寄生虫症	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人 2020年度 34 人 在院日数 10.6 日 25 人	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人 2021年度 18 在院日数 32.7 日 26 人 在院日数	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人 2022年度 13 在院日数 23.5 日 34 人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人 2023年度 11 在院日数 日 19 人	5,514 / 6,900 / 91 / 690 / 4,539 / 4,539 / 2024年度  16 / 在院日数	実施数  延べ患者数(利用者数)  延べ患者数(利用者数)  自治体の公費による乳児優診実施数  自治体の公費による小児科対象の予防接種実施数  健診実施数  定義、指標計算方法等  は 1 ICD10の大分類に基づいた 疾病別の退院患者件数及 び平均在日数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  2 小児科で実施しています公費による予問種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診バスも所有し、分健診も実施しています。健診バスも所有し、分健診も実施しています。
○通所リハビリ患者数 ○ 計問リハビリ患者数 ○ 乳児健診数 ○ 小児予防接種実施件数 ○ 健診数 診療科目に関する指標 指標項目 疾病別患者数及び田均在院日数 (A00~B99) 感染症・寄生虫症 (C00~D48)	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人 2020年度 34 人 在院日数 10.6 日 25 人	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人 2021年度 18 在院日数 32.7 日 26 人 在院日数 35.3 日	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人 2022年度 13 在院日数 23.5 日 34 人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人 2023年度 11 在院日数 日 19 人	5,514 / 6,900 / 91 / 690 / 4,539 / 4,539 / 2024年度  16 / 6院日数	実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  2 小児科で実施しています公費による予防種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診パスも所有し、外健診も実施しています。健診パスも所有し、外健診も実施しています。
○通所リハビリ患者数 ○訪問リハビリ患者数 ○乳児健診数 ○小児予防接種実施件数 ○健診数 診療科目に関する指標 指標項目 疾病別患者数及び田均在院日数 (A00~B99) 感染症・寄生虫症 (C00~D48) 新生物	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人 2020年度 34 人 在院日数 10.6 日 25 人 在院日数 26.8 日 1 五	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人 2021年度 18 在院日数 32.7 日 26 人 在院日数 35.3 日 4 在院日数	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人 2022年度 13 在院日数 23.5 日 34 人 在院日数	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人 2023年度 11 在院日数 14.5 日 在院日数 48.9 日人 在院日数	5,514 / 6,900 / 91 / 690 / 4,539 / 4,539 / 15 / 在院日数 27.5 E	実施数  延べ患者数(利用者数)  延べ患者数(利用者数) 自治体の公費による乳児優 診実施数 自治体の公費による小児科 対象の予防接種実施数  定義、指標計算方法等  にD10の大分類に基づいた 疾病別の退院患者件数及 び平均在日数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  2 小児科で実施しています公費による予問種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診バスも所有し、分健診も実施しています。健診バスも所有し、分健診も実施しています。
○通所リハビリ患者数 ○訪問リハビリ患者数 ○乳児健診数 ○小児予防接種実施件数 ○健診数 診療科目に関する指標 指標項目 疾病別患者数及び田均在院日数 (A00~B99) 感染症・寄生虫症 (C00~D48) 新生物 (D50~D89)	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人 2020年度 34 人 在院日数 10.6 日 25 人 在院日数 26.8 日 13 人	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人 2021年度 18 在院日数 32.7 日 在院日数 35.3 日 9 人 在院日数 19.8 日	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人 2022年度 13 在院日数 23.5 日 34 人 在院日数 37.4 日 9 人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人 2023年度 11 在院日数 日 19 人 在院日数 日 6 人 在院日数 20.8 日	5,514 / 6,900 / 91 / 690 / 4,539 / 4,539 / 在院日数 29.7 E 15 / 在院日数 27.5 E 1 / 7	実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  2 小児科で実施しています公費による予問種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診バスも所有し、分健診も実施しています。健診バスも所有し、分健診も実施しています。
○通所リハビリ患者数 ○乳児健診数 ○乳児健診数 ○小児予防接種実施件数 ○健診数 診療科目に関する指標 指標項目 疾病別患者数及び田均在院日数 (A00~B99) 感染症・寄生虫症 (C00~D48) 新生物 (D50~D89) 血液・造血器・免疫機構の障害	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人 2020年度 34 人 在院日数 10.6 日 25 人 在院日数 11.5 日 85 日 6院日数	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人 2021年度 18 在院日数 32.7 日 26 人 在院日数 35.3 日 年院日数 19.8 日 在院日数 19.8 日 在院日数 19.8 日 在院日数	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人 2022年度 13 在院日数 23.5 日 4年院日数 27.4 日 9 人 在院日数 26.8 日人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人 4,509 人 2023年度 11 在院日数 14.5 日 19 人 在院日数 48.9 日 在院日数 日 6 人 在院日数	5,514 / 6,900 / 91 / 690 / 4,539 / 4,539 / 在院日数 29.7 E 15 女 在院日数 19.0 E	実施数  延べ患者数(利用者数)  延べ患者数(利用者数) 自治体の公費による乳児優 診実施数 自治体の公費による小児科 対象の予防接種実施数  定義、指標計算方法等  は ICD10の大分類に基づいた 疾病別の退院患者件数及び平均在日数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利所数です。  2 小児科で実施しています公費による予問種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診バスも所有し、分健診も実施しています。健診バスも所有し、分健診も実施しています。
〇通所リハビリ患者数 〇訪問リハビリ患者数 〇乳児健診数 〇小児予防接種実施件数 〇健診数 診療科目に関する指標 指標項目 疾病別患者数及び田均在院日数 (A00~B99) 感染症・寄生虫症 (C00~D48) 新生物 (D50~D89) 血液・造血器・免疫機構の障害 (E00~E91)	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人 2020年度  10.6 日 25 枚 在院日数 26.8 日 13 人 在院日数 11.5 日 85 人	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人 2021年度 18 在院日数 32.7 日 26 人 在院日数 35.3 日人 在院日数 日 73 人	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人 2022年度 13 在院日数 23.5 日 34 枚 37.4 日 9 人 在院日数 26.8 日 59 人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人 4,509 人 2023年度 11 在院日数 14.5 日 19 人 在院日数 48.9 日 在院日数 日 6 人 在院日数	5,514 / 6,900 / 91 / 690 / 4,539 / 4,539 / 2024年度  16 在院日数 29.7 E 1 15 / 在院日数 19.0 E 33 y 在院日数 22.4 E	実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  2 小児科で実施しています公費による予防種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診パスも所有し、外健診も実施しています。健診パスも所有し、外健診も実施しています。
○通所リハビリ患者数 ○訪問リハビリ患者数 ○乳児健診数 ○小児予防接種実施件数 ○健診数 診療科目に関する指標 指標項目 疾病別患者数及び田均在院日数 (A00~B99) 感染症・寄生虫症 (C00~D48) 新生物 (D50~D89) 血液・造血器・免疫機構の障害 (E00~E91) 内分泌・栄養・代謝	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人 2020年度 34 人 在院日数 10.6 日 25 人 在院日数 11.5 日 在院日数 11.5 日 在院日数 11.5 日 在院日数 日	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人 2021年度 18 在院日数 32.7 日 26 数 日 在院日数 19.8 日 73 人 在院日数 27.7 日 27.7 日 3 人	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人 2022年度 13 在院日数 23.5 日 在院日数 9 人 在院日数 26.8 日人 59 人 在院日数 日人 59 人 在院日数 日人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人 2023年度 11 在院日数 14.5 日 年院日数 48.9 日 在院日数 20.8 日人 在院日数 20.8 日人 在院日数 20.8 日人	5,514 / 6,900 / 91 / 690 / 91 / 690 / 4,539 / 4,539 / 2024年度  16 在院日数 29.7 E 15 / 在院日数 27.5 E 1 / 在院日数 22.4 E 2 / 在院日数 22.4 E 2 / 在院日数	実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  2 小児科で実施しています公費による予防種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診パスも所有し、外健診も実施しています。健診パスも所有し、外健診も実施しています。
〇通所リハビリ患者数 〇計問リハビリ患者数 〇乳児健診数 〇小児予防接種実施件数 〇健診数 診療科目に関する指標 指標項目 疾病別患者数及び田均在院日数 (A00~B99) 感染症・寄生虫症 (C00~D48) 新生物 (D50~D89) 血液・造血器・免疫機構の障害 (E00~E91) 内分泌・栄養・代謝	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人 2020年度 34 人 在院日数 10.6 日 26.8 日 13 人 在院日数 11.5 日 85 人 在院日数 20.4 日 3 人	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人 2021年度 18 在院日数 32.7 日 26 人 在院日数 月 人 在院日数 日 71.8 日 72.7 日 3 人 在院日数 31.3 日	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人 2022年度 13 在院日数 23.5 日 公 在院日数 27.4 日 9 人 在院日数 26.8 日 59 人 在院日数 22.1 日 4 人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人 2023年度 11 在院日数 14.5 日 19 人 在院日数 日人 在院日数 日人 在院日数 日人 在院日数 日人	5,514 / 6,900 / 91 / 690 / 91 / 690 / 4,539 / 4,539 / 2024年度  16 在院日数 29.7 E 15 / 在院日数 27.5 E 1 / 在院日数 22.4 E 2 / 2 E 2 / 2 E 2 2 / 2 E 2 2 2 2 2 2	実施数  延べ患者数(利用者数)  延べ患者数(利用者数) 自治体の公費による乳児優 診実施数 自治体のの防接種実施数  定義、指標計算方法等  にD10の大分類に基づいた 疾病別の退院患者件数及 び平均在日数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  2 小児科で実施しています公費による予防種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健を実施しています。健診パスも所有し、外健診も実施しています。健診パスも所有し、外健診も実施しています。
○通所リハビリ患者数 ○ 計問リハビリ患者数 ○ 乳児健診数 ○ 小児予防接種実施件数 ○ 健診数  診療科目に関する指標 指標項目 疾病別患者数及び田均在院日数	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 3,447 人 2020年度 34 人 在院日数 10.6 日 25 数 26.8 日 13 人 在院日数 1.5 日 在院日数 1.5 日 在院日数 1.5 日 在院日数 4.6 人 在院日数 4.6 人 在院日数 4.7 人	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人 2021年度 18 在院日数 32.7 日 26 数 53.3 日 年院日数 9 人 在院日数 19.8 日 73 人 在院日数 27.7 日 26.7 日 27.7 日 31.3 日 42.7 日 43.8 日 44.8 日 45.8 日 45.8 日 46.8 日 46.8 日 47.8 日	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人 2022年度 13 在院日数 23.5 日 在院日数 26.8 日 在院日数 26.8 日 在院日数 26.8 日 在院日数 26.1 日人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人 2023年度 11 在院日数 14.5 日 在院日数 20.8 日 在院日数 20.8 日 在院日数 20.8 日 在院日数 22.4 日 在院日数 22.4 日 在院日数 日 在院日数 日	5,514 / 6,900 / 91 / 690 / 91 / 690 / 4,539 / 4,539 / 在院日数 29.7 E 1 / 在院日数 27.5 E 1 / 在院日数 22.4 E / 41.5 E 24.4 E / 41.5 E 4.15	実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登録せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1・小児科で実施しています公費による乳児診の実施数です。  1・小児科で実施しています公費による予財種の実施数です。  被曝者健診、自治体健診はじめ各種健認を実施しています。健診バスも所有し、外健診も実施しています。
○通所リハビリ患者数 ○ 計問リハビリ患者数 ○ 乳児健診数 ○ 小児予防接種実施件数 ○ 健診数  診療科目に関する指標 指標項目 疾病別患者数及び田均在院日数	7,285 人 6,119 人 29 人 260 人 260 人 3,447 人 2020年度 34 人 在院日数 10.6 日 25 人 在院日数 26.8 日 11.5 日 6年日数 20.4 日 33.0 日 42 人	7,294 人 6,327 人 43 人 395 人 3,119 人 3119 人 2021年度 18 在院日数 32.7 日 26 人 在院日数 19.8 日 73 人 在院日数 27.7 日 75 日	6,062 人 6,367 人 68 人 504 人 3,752 人 2022年度 13 在院日数 23.5 人 在院日数 26.8 日 在院日数 26.8 日 在院日数 26.8 日 4 人 在院日数 22.1 日 4 人 在院日数 4 人	5,521 人 7,334 人 90 人 721 人 4,509 人 4,509 人 14,509 人 2023年度 11 在院日数 14,5 日 19 数 人 在院日数 日 6 数 日 6 以 20.8 日 51 人 在院日数 22.4 日 0 日 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	5,514 / 6,900 / 91 / 690 / 91 / 690 / 4,539 / 4,539 / 在院日数 29.7 E 1 / 在院日数 27.5 E 1 / 在院日数 22.4 E / 41.5 E 24.4 E / 41.5 E 4.15	実施数	めに、当院では、かかりつけ患者さんので定期的な通院が必要な患者さんを登せていただき、他職種協働で支援させてただいています。  1年間の延べ通所リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  1年間の延べ訪問リハビリテーション利用数です。  2日かりまた。  2日かりまた。  2日かりまた。  2日かりまた。  3日かりまた。  4日かりまた。  4日かり

(H60~H95) 耳及び乳様突起 (100~199) 循環器系 (J00~J99) 呼吸器系 (K00~K93) 消化器系 (L00~L99) 皮膚及び皮下組織 (M00~M99) 筋骨格系及び結合組織 (N00~N99) 尿路性器系 (Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異常 (R00~R99)	在院日数 5.9 296 在院日9数 76.9 118 在院日3 22.9 37 在院日3 24.1 15 在院日5 17.0 60 在院日5 4 4 在院日 数 22.4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	日人         日本         日本	5 在院日数 22.4 322 在院日数 68 68 在院日数 30.7 54 在院日数 21.6 11 在院日数 36.1 59 在院日数	日人 日人 日人 日人 日	1 在院日数 31.0 290 在院日数 85.6 80 在院日数 31.8 27 在院日数 19.3	日人 日人 日人	3 人 在院日数 11.7 日 257 人 在院日数 82.0 日 96 人 在院日数 28.7 日 42 人	在院日数 9.0 280 在院日数 84.6 112 在院日数	日人日人		*脳血管疾患は I60~循環器系に含まれます。
(100~199) 循環器系 (J00~J99) 呼吸器系 (K00~K93) 消化器系 (L00~L99) 皮膚及び皮下組織 (M00~M99) 筋骨格系及び結合組織 (N00~N99) 尿路性器系 (Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異 常	296 在院日数 76.9 118 在院日数 22.9 37 在院日数 24.1 15 在院日5 17.0 60 在院日3 50.4 在院日数 22.4 在院日数 0.0	人 日人 日人 日人 日人	322 _ 在院日数 76.8	人日人日人日人日	290 在院日数 85.6 80 在院日数 31.8 27 在院日数 19.3 5	人 日人 日人	257 人 在院日数 82.0 日 96 人 在院日数 28.7 日	280 在院日数 84.6 112 在院日数	人日人		
循環器系 (J00~J99) 呼吸器系 (K00~K93) 消化器系 (L00~L99) 皮膚及び皮下組織 (M00~M99) 筋骨格系及び結合組織 (N00~N99) 尿路性器系 (Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異 常	在院日数 76.9 188 在院日数 22.9 37 在院日数 17.0 60 在院日数 50.4 在院日数 22.4 0 在院日数	日人     日人     日人     日人     日人	在院日数 76.8   68   在院日数 30.7   54   在院日数 21.6   11   在院日数 36.1   59   在院日数	티스 티스 티스 티	在院日数 85.6 80 在院日数 31.8 27 在院日数 19.3 5	日人日人	在院日数 82.0 日 96 人 在院日数 28.7 日	在院日数 84.6 112 在院日数	日人		
(J00~J99) 呼吸器系 (K00~K93) 消化器系 (L00~L99) 皮膚及び皮下組織 (M00~M99) 筋骨格系及び結合組織 (N00~N99) 尿路性器系 (Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異	118 在院日数 22.9 37 在院日数 17.0 60 在院日数 50.4 在院日数 50.4 在院日数 0.0	人 日人 日人 日人	68 在院日数 30.7 54 在院日数 21.6 11 在院日数 36.1 59 在院日数	시 티시 티시 티	80 在院日数 31.8 27 在院日数 19.3 5 在院日数	人日人	96 人 在院日数 28.7 日	112 在院日数	人		
呼吸器系 (K00~K93) 消化器系 (L00~L99) 皮膚及び皮下組織 (M00~M99) 筋骨格系及び結合組織 (N00~N99) 尿路性器系 (Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異	在院日数 22.9 37 在院日37 54.1 15 在院日5 60 在院日50.4 在院日4 22.4 在院日 数 0.0	日人 日人 日人 日人	在院日数 30.7 54 在院日数 21.6 11 在院日数 36.1 59 在院日数	日人日人日	在院日数 31.8 27 在院日数 19.3 5 在院日数	日人	在院日数 28.7 日	在院日数			
(K00~K93) 消化器系 (L00~L99) 皮膚及び皮下組織 (M00~M99) 筋骨格系及び結合組織 (N00~N99) 尿路性器系 (Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異	37 在院日数 24.1 15 在院日数 17.0 60 在院日数 50.4 左院日数 22.4 在院日数 0.0	人 日人 日人 日人	54 在院日数 21.6 11 在院日数 36.1 59 在院日数	人日人日	27 在院日数 19.3 5 在院日数	人		26.6			
消化器系 (L00~L99) 皮膚及び皮下組織 (M00~M99) 筋骨格系及び結合組織 (N00~N99) 尿路性器系 (Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異常	在院日数 24.1 15 在院日数 17.0 60 在院日数 50.4 4 在院日数 22.4 0 在院日数	日人日人日人	在院日数 21.6 11 在院日数 36.1 59 在院日数	日人日	在院日数 19.3 5 在院日数		42 人	0.7			
(L00~L99) 皮膚及び皮下組織 (M00~M99) 筋骨格系及び結合組織 (N00~N99) 尿路性器系 (Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異常	15 在院日数 17.0 60 在院日数 50.4 在院日数 22.4 0 在院日数	人日人日人	11 <i>.</i> 在院日数 36.1 59 <i>.</i> 在院日数	人日	5 在院日数	н	在院日数	. 37 在院日数			
皮膚及び皮下組織 (M00~M99) 筋骨格系及び結合組織 (N00~N99) 尿路性器系 (Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異常	在院日数 17.0 60 在院日数 50.4 在院日数 22.4 0 在院日数	日人日人	在院日数 36.1 59 在院日数	日	在院日数	_	21.6 日		_		
(M00~M99) 筋骨格系及び結合組織 (N00~N99) 尿路性器系 (Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異常	60 在院日数 50.4 54 在院日数 22.4 0 在院日数	人 日 人	59 . 在院日数	_	00.0	^	6 人 在院日数	. 4 在院日数	人		
筋骨格系及び結合組織 (N00~N99) 尿路性器系 (Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異常	在院日数 50.4 54 在院日数 22.4 0 在院日数	日人	在院日数	시	38.6	_	35.8 日				
(N00~N99)  尿路性器系 (Q00~Q69)  先天奇形・変形および染色体異常	50.4 54 在院日数 22.4 0 在院日数 0.0	人			66 在院日数	人	61 人 在院日数	. 56 在院日数			
尿路性器系 (Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異 常	在院日数 22.4 0 在院日数 0.0			日	49.8	日	53.8 日	57.5	日		
(Q00~Q69) 先天奇形・変形および染色体異常	22.4 0 在院日数 0.0		46 <i>.</i> 在院日数	시	32 在院日数	人	37 人 在院日数	. 36 在院日数			
先天奇形・変形および染色体異 常	在院日数 0.0		19.2		24.9		21.4 日	24.5	日		
常	0.0		2 .	人	2 左院口粉	人	0 人		人		
(R00~R99)			在院日数 23.0	В	在院日数 76.5	В	在院日数 0.0 日	在院日数			
	11	人	11 .	_	14	_	5 人	. 1	人		
症状・徴候	在院日数 15.8		在院日数 29.1	н	在院日数 25.7	н	在院日数 55.8 日	在院日数 48.0			
(S00~T98)	115	人	109	-	95		156 人	163	人		
損傷・中毒及びその他の外因	在院日数 63.4		在院日数 58.1		在院日数 64.5		在院日数 64.9 日	在院日数 62.2			
(U00~U89)	03.4		7 .	_	2	_	13 人	19		•	
特殊目的別コード	在院日数		在院日数		在院日数		在院日数	在院日数			
(Z00~Z99)	0.0 7	_	31.7 5.0	-	8.5 1.0	-	51.5 日	25.9			
(200~299) 健康状態に影響を及ぼす要因	在院日数		在院日数	^	在院日数	^	在院日数	在院日数			
退院患者合計	91.9 922	日	60.4 864	1	65.0 777		0.0 806 人	0.0 819	日		
がん医療に関する指標	922	Л	804 .	<u> </u>	111	Λ	800 🔨	1 819	$\overline{}$		
指標項目	2020年度	Т	2021年度	T	2022年度		2023年度	2024年度		定義、指標計算方法等	説明コメント
がん登録統計	48	件	50	件	44	件	48 件	51		「全国がん登録」による登録 件数	がん登録等の推進に関する法律により 2017年度より登録しています。
指標項目	2020年度		2021年度	Т	2022年度		2023年度	2024年度		定義、指標計算方法等	説明コメント
₩ <b>台 虫 老粉</b> (4 □ ‡ + -    )	0.5		0.0		0.6		0.6	0.0		(救急入院患者数+救急外	
	2.5		2.0 .		2.6	^	2.6 人	2.3	^	来患者数)/年間営業日数	│かかりつけ患者受入に努めています  小児科の休日輪番日の患者数は含ま
<b></b> 数急搬送受入件数	172	人	133 .	人	151	人	145 人	129	人	救急患者のうち、来院方 法が「救急車」の患者数	ておりません。
放射線及び検査に関する指	<b>i標</b>									MA 17/0-13	
指標項目	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	2024年度		定義、指標計算方法等	説明コメント
CTの検査人数	2,323	人	2,092	人	1,904	人	1,991 人	1,731	人	CTの検査患者数	CTの検査患者数です。
内視鏡検査総件数	1,145	件	1,108	件	1,175	件	1,209 件				内視鏡検査と治療の件数です。検査
内視鏡検査件数上部 	1,075	-	1,107		1,167		1,203 件	1,241	件	内視鏡検査の件数	ついては、(1)食道、胃などの上部、 (2)大腸などの下部 に種類を分けて
内視鏡検査件数下部 内視鏡検査件数生検	70 11	_	1 f		8 145		6 件		件		ります。
〇超音波検査総人数		人		人	4,132	人	4,137 人	4,087		   超音波の検査患者数	+
〇腹部	2,549	<del>\</del>		7	2,185	人	2,179 人	2,221		腹部エコー患者数	1
〇心臓	983	人		人	924	人	802 人	771	_	心エコー患者数	超音波の検査患者数です。
〇頸動脈	335	人	285 .	人	281	人	366 人	296	人	頸動脈エコー患者数	]
〇血管	677	人		人	626	人	635 人	653	_	血管エコー患者数	
〇表在	156	시		人	116	人	155 人	146		表在エコー患者数	
t t	検体 76	個	76 1	個	76	個	76 個	76	個	院内で実施する検体検査で 検査科受付後60分以内の	
緊急対応可能検査項目数及び	100.0	%	100.0	%	100.0	%	100.0 %	100.0	%	報告、および生理検査で当	院内で実施する検査のうち、救急患   や入院患者の急変などに対応し、院
緊急対応可能検査項目数の割 ├── 合	生理 24	個	生理 24 1	個	生理 24	個	生理 24 個	生理 24	個	日報告の可能な緊急対応可能検査項目数とその割合	で緊急に行える検査がどのくらいあ
		%	83.0	%	83.0	%	83.0 %		%	(緊急対応可能検査項目数 ÷全体検査項目数×100)	かを表しています。
系急検査のTAT (ターンアラウン タイム)	30分00秒		30分00秒		30分00秒		30分00秒	30分00秒		病院で実施する生化学検査における、緊急検査依頼の検査科受付から報告確定までの平均時間	TAT(ターンアラウンドタイム)と体が検査科に来てから検査結果が有するまでの時間のことです。検査を迅速に報告することで、医師が活方針を早期に決定することができ、療の質向上に寄与します。
В	本医師会		日本医師会	ı	日本医師会		日本医師会	日本医師会		外部精度管理における日	日本医師会は、総タンパク、ブドウ糖、尿酸など検体検査40以上の検査
臨床検査に係る精度管理調査評	94.0	点	97.5	点	96.3	点	96.5 点	98.8	点	本医師会臨床検査精度管 理調査の結果 (評価項目	目について、サーベイを実施した約の項目修正点数(100点満点)です。
価評点 日	日本臨床検 ፩技師会		日本臨床検 査技師会		日本臨床検 査技師会		日本臨床検 査技師会	日本臨床検 査技師会		修正点数)、日本臨床検 査技師会精度管理調査の 結果 (AB評価%)	臨技は、検体検査、微生物、輸血、 理、病理、細胞など180以上の評価について、サーベイを実施した結果 望ましいとされる評価A、評価Bの作
	99.3	%	98.7	%	94.1	%	94.6 %	97.3	%		の割合です。
IE機器点検実施件数	12	件	12 1	件	12	件	12 件	. 12	件	ME機器(医療機器)の日常点検、定期点検の件数 (庭床工学技士実施分) 職場での点検は毎日実施。	ME機器の使用時の故障を未然に防き 検査の安全性を保つために、使用 使用後及び一定の期間毎に行ってし 点検の件数です。

服薬指導件数(入院)	56 件	150 件	131 件	109 件	125 件	入院服薬指導業務指導件 数 (薬剤指導・ハイリス ク薬剤指導)	患者さんへの薬物療法の効果や副作用などの説明・アドバイスを通じて、患者さんの薬物療法への理解を深めるとともに、より安全で効果的な薬物療法を受けられるよう薬剤師が活動した件数です。
ジェネリック使用率	91.8 %	91.3 %	91.1 %	94.5 %	96.3 %	「後発医薬品の数量」/ (「後発医薬品のある先 発医薬品の数量」+「後 発医薬品の数量」)※数 量は、薬価を連続を表する の規格単位ごとに数えた 数量をいう。	当院における入院医療で使用される全薬剤のうちジェネリック (後発医薬剤のうちジェネリック(後発医薬 コントが大幅に削減されているため、 先発医薬品に比べると安価になるなどの特徴があります。
薬剤師による抗がん剤等のミキ シング数 (処方箋枚数)	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	抗がん剤ミキシング件数	薬剤師が安全キャビネットなどを使用 して、抗がん剤のミキシングを行った 処方箋枚数です。
7. 栄養に関する指標 <sub>指標項目</sub>	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
			924 件				患者さんに対して、医師の指示により管理
栄養指導件数 個別 栄養指導件数 集団	0 🗓	0 🗓	0 🗓	0 🗓	0 💷	回が不受及事指等円数、米 団栄養食事指導回数及び 人数(医療活動統計より)	栄養士が食事療法について説明し、食生活 改善の支援を行っております。個人の生活 スタイルに合わせた個別指導を外来及び入 院で行っています。
	0 件 回診回数	0 件 回診回数	0 件回診回数	0 件 回診回数	0 件 回診回数		栄養サポートチーム(NST)とは栄養管理を
**************************************	48 回	73 回	58 回	69 回	56 🗓	** II -	医師、看護師、薬剤師、リハビリ、管理栄養士、歯科衛生士など様々な職種によって支
栄養サポートチーム(NST)活動    件数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	栄養サポートチーム(NST) 回診回数・回診延人数	援・実施するチーム医療のことです。定期 的にメンバーによる回診等を行い、患者さ
	308 人	261 人	217 人	236 人	220 人		んの状況を確認して適切な栄養療法を検 討しています。
お楽しみ食提供回数	11 🛭	11 🗊	11 🗖	11 回	11 回	お楽しみ食提供回数(年間)	献立に祝祭日や季節感を取り入れるなど、 お楽しみ食のメニューを充実させることで、 患者さんへ憩いのひと時を提供し、患者さ んの視点に立ったサービスを提供しています。
3. 看護に関する指標 <sub>指標項目</sub>	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
褥創発生率	1.2 %	0.7 %	1.4 %	1.1 %		[院内褥瘡発生数/(当月の 新入院患者数+前月終日 日在患者数)]×100	帰瘡とは、長時間の圧迫などにより皮膚が 循環障害を起こし傷となる、いわゆる「床ず れ」の状態をいいます。当院では、医師、看 護師、薬剤師、管理栄養士など様々な職利 により構成される褥瘡対策チームが中心と なり治療・ケアをして褥瘡発生防止に努め ています。この褥瘡発生率は看護ケアの質 評価の重要な指標とされています。
常勤看護師の離職率	10.4 %	11.1 %	24.5 %	8.0 %	19.0 %	常動看護職員離職率-当 該年度退職者数/当該年 度平均常動職員数×100 平均職員数=(年度当初の 在籍職員数 + 年度末の在 籍職員数 ウェ2 ※常動看護の 離職も含む ※離職には定 年退職を含む。	看護師離職率が低いことは、病院に慣れた看護師により安定的かつ質の高い看護が提供されているとともに、看護師にとっても働きやすい環境であることを表しています。
患者・家族のケア満足度入院	76.9 %	65.7 %	76.9 %	89.8 %	81.0 %	    患者満足度調査における入  院・外来(平均)のケア満足	入院、外来の患者さんに当院の看護師の 対応についてアンケートを行った際に、「十 分」、「ほぼ十分」と答えた方の割合です。
患者・家族のケア満足度外来	80.7 %	80.5 %	80.5 %	82.7 %	72.9 %	度	今後も高いケア満足度を目指して医療サービスの向上を図っていきます。
). 医療安全に関する指標	2000年度	0001年	2000年度	2023年度	0004年中		EVAD 44.4
指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年及	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント 入院している患者さんの中には年齢や病気
転倒·転落率	6.2 ‰	5.3 ‰	3.7 ‰	4.2 ‰	3.9 ‰	インシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数/期間中の入院述べ患者数×1000	の影響により、転倒したり、ペッドなどから 転落したりする可能性が高い方もいます。 転倒・転落の原因や要因について分析等を 行い、予防策を講じて、転倒・転落を防いて います。
医療安全研修	2 💷	2 💷	2 💷	2 💷	2 💷		職員の医療安全意識の向上を図るとともに、病院全体の医療安全を向上させること
情報セキュリティー研修	1 📵	1 📵	1 📵	1 💷	1 💷	- 年度内の開催実績数 	を目的とし、医療安全研修や情報セキュリティーに関する研修を実施しています。
0. 地域連携・相談業務に関		0000	0000	00	0001		
指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
紹介率(外来)	11.0 %	11.0 %	4.5 %	2.8 %	2.6 %	地域医療支援病院の紹介 率、逆紹介率の算出基準を 用いる ・紹介率 (初診紹介患者数	外来機能として、他の病院または診療所か
逆紹介率 (外来)	80.0 %	68.0 %	36.1 %	33.6 %	32.8 %	·福汀平(初於福汀思有級 - + 救急患者数)/初診患者 数×100 · 逆紹介率(逆紹介患者数 / 初診患者数+再診患者 数)×1000	ら紹介状により紹介された患者さんの割合 (紹介率)及び当院から他の病院または診療所に紹介した人の割合(逆紹介率)です。
紹介率 (入院・リハ科)	97.0 %	98.8 %	98.1 %	98.4 %	99.5 %	リハビリテーション科紹介患 者数/新規入院患者	入院機能としての紹介割合です。回復期リ ハビリテーション病棟はほぼ100%他医療 機関からの紹介となってます。内科も随時 地域の医療機関・介護施設と連携できるよ
	35.2 %	39 %	46.9 %	46.6 %		内科紹介患者数/新規入院	で吸い医療機関・介護施設と連携できるよ   う受入体制を整えてきました。今後も地域で  信頼される病院作りに努めています。

地域連携パス実施数	2	個 2	個	2 ((	2	個	2 個	固		患者さんの病気の回復過程に応じて、急期・回復期・維持期・在宅療養における治療と必要な情報が切れ目なく推進するた。
大腿骨頸部骨折	57	人 36	人	40	45	人	32 J		地域連携パスごとの使用患 者数	版と必要な情報が切れたはないに近くった。 の診療計画を作成し、治療を受けるすべ の医療機関で共有して用いています。診 にあたる複数の医療機関が、役割分担を め、あらかじめ診療内容を患者に提示・記
脳卒中	77	人 56	人	68 )	69	人	81 人	Ļ		明することにより、患者さんが安心して医 を受けることができるよう努めています。
医療従事者等研修会開催数	5.0	□ 8.0	0	8.0 [	18.0	回	23.0 🗉		地域開放講座等の講演会 の開催件数、	地域支援病院ではなく、連携医師数・高機器の連携医との共同利用は集計していません。 地域の医療機関・関係団体への情報提
広報誌発行部数	19,800	部 19,800	部	19,800 音	ß 19,800	部	18,900 音	-	広報誌(病院だより、医師 プロフィールなどの情報) 発行部数	等(病院たよりは3,300部を年6回発行、 2024年度11月より3,000部)を実施してい す。
〇地域住民等医療講演会開催 数	11.0	16.0		21.0	30.0	回	40.0 🗉		地域住民を対象とした医療 講演会の開催数	地域の住民への公開講演会・情報提供 (友の会たよりは年6回発行)を積極的に
〇地域住民等広報誌発行部数	12.0	部 12.0	部	12.0 普	ß 12.0	部	12.0 音		広報誌(友の会たより)発行 部数	施しています。
〇在宅療養支援病院連携訪問 看護ステーション数	21.0	件 23.0	件	24.0 4	22.0	件	13.0 件		24時間365日連携している 訪問看護ステーション数	連携訪問看護ステーションとして登録しる地域の訪問看護ステーション事業所数
〇仙台市「元気応援教室」参加	40	Q 45		40 [	47	回	0 🖪	믜	対象とした運動・口腔機能向	・郡山・富沢の3つの中学校区の高齢者上のための通所型介護予防事業を疾病
<b>数</b>	81	人 69	人	56	72	人	0 )	را.		しています。長町・郡山・富沢地域包括支 住民を対象としています。2024年度は委
<ul><li>○地域での健康相談会件数</li></ul>	2.0	4.0	回	6.0	7.0	人	4.0	- 12		地域の商店会などと連携し、店頭や集会での青空健康相談会などを開催し、血圧
	56.0	人 65.0	人	101.0	105.0	人	81.0 人	Δ.	開催数、相談数。	体脂肪チェックや医療介護相談会を実施 ています。
○被災地での健康相談会件数	9.0	人 7.0	回	10.0	12.0	回	12.0	ء ج	東日本大震災で被災された 方々が入居されている仮設 住宅などでの無料出張健康 相談会を開催数(土曜日)。	東日本大震災で被災された方々が入居 れている仮設住宅などでも無料での出引 康相談会を開催しています。
1. 医療サービスに関する								_		
指標項目	2020年度	2021年度	ŧ	2022年度	2023年度		2024年度		定義、指標計算方法等	説明コメント 当院が提供する医療サービスに対して、
患者満足度 入院	75.0		- %	79.3 9				- 1	「あなたは全体としてこの病院に満足していますか。」という問いに対し「満足」「ほぼ満足」「ほぼ満足」「ほぼ満足」と回答した割合(入院・	コボルでは、るとなり、 者さんがどのように感じているかを把握 その結果を反映していくことで、医療サー スの一層の充実を図るために実施してい す。引き続き、高い患者満足度を維持・
患者満足度 外来	71.4		%	74.0 9	6 81.7	%	78.3 %	6	外来)	9。57さ続さ、高い思名満足及を維持・1 上できるよう努めていきます。
2. 医師・看護師・コメディブ 指標項目	1ルの資格等	に関する指標 2021年度	_	2022年度	2023年度		2024年度	T	定義、指標計算方法等	説明コメント
	床医1人 日本専門医機 構 リハビリテーシン科専門医14 義肢装具等道 合判定医師4.	日本 (1)	機 シ名適5病会 医 認 産 ア定 ア定	ン床日構リン義合回専終小人小定医業プ連医プ連指プ医医本 い有験判復恢了児 児医師医つ合人イ学医会人門 門門具医U研で了児 児医師医のイ学人 マ学医学・ 一 医等節ハ棒 門 染 た 認 ・ 一 を 等 か い か に か に か に か に か に か に か に か に か に	床医1人 日本専門医機 構 リハビリテーシン科専門医44 義肢装具等適 合判定医師3.	一名 人棟 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ン床日構リン義合回専終小人小定医業プ連医プ連指プ医医本 ピ専装定期医行う児・児医師医う合しイニテン会人門・戸門異医いびより、関・アミ・ア・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・	3		の職員が認定を取得していくよう、人材の 育成に取り組んでいます。
資格認定医師、専門医師数	連家医日構門導在定內消定門消学器医內房庭名本総研医宅專科化消医化会內1科学医療,門診特人学医定学器人內定鏡、門診特人学医定学器人內定鏡、學院上,機專指、證人,認專,提納專、認人,認專,與指專、認人,認專	家医日構門導在に外別では、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	門 機専指 認人 2 認専 鏡化門	連家医日構門導在定内消定門消学器医内管医名。專給時代,学医产学器、内医统则和学院、明認器化化活医、独烈的、学院学器、内医统、人学医学器、内医统、会2、医会病、視消專、認定門、機專指、認人1認專、鏡化門、定	連家医日構門導在定內消定門消学器医內総合庭日本総研医宅専科化消医化会内1科合会療 門診特 全区电视器化1器配視 学内学医定学器人内定鏡 会科 門診特 会2医会病 視消車 認專店門 機專指 認人1 認專 鎮化門 医門		連家医日構門導在定内消定門消学器医内合庭名本総合等人学医产型学器人内全层門認器化人科学医科、学医学器人内共等条项,则参特人学医学器人内消毒。認明,医传统一条1.10是余病,視消毒,認定門,機專指,認人之認專,鏡化門,定定門,機專指,認人之認專,鏡化門,定			

	指整認専日生医日治施笑認臨医難小疾イントー人学外人神専 リ認人士 指 医特医氏体 大学医院生物学 大学医療法 人 作 定性医力治 医外形 大神専 リ認人士 指 医特医シルドウ 大学外人神専 リ認人士 指 医特医シルドウー人 と 導 5定人ンクール	指整認専日生医日治施笑認臨医難リークリー 大学外入 神専 リ認人士 と に を に いまない 大学 いまり 大学 いまり 大学 いまり 大 ボーラ いまり かった いまり かった	認定1人 臨床研修指導 医5人 難病指定医6人 小児慢性特定	指整認専日生医日治施笑認臨医難児保・大学外形に大神専 リ認人士 経 医特別 経門 ス定 線 に 大神・ リ に 大神・ 大神・ リ に 大神・ 大神・ リ に 大神・	指整認専日生医日治施笑認臨医難リー族・八人学外人 神専 リ認人士 と に 1 日本療注に療し、 大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大		
看護部門の認定・資格・研修修 了者数	認者認定摂看師認士精導(C在者ア名医者呼士介シ段者 看名症護嚥認名症名病1無者、ドレ・全・療名県籍 種種が下定ケケ療名県籍、ストレ・全・療名県籍をして、変名療名プル制度 ない、変名療名プル制度 はい、カーマー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	認者認定負債 電話 電話 記者記定負債 で記述 で記述 で記述 で記述 で記述 で記述 で記述 で記述	認者認定接着師認士糖導(C在者アン6 主名に対看を選別を表現して、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	ファーストレベル 6名 セカンドレベル3 名 療安全管理 者2名サードレ ベル1名 呼吸療法認定	名 医療安全管理 者2名サードレ ベル1名 呼吸療法認定 士1名 介護プロフェッ	調査時点の人数(常勤職員)	
コメディカル部門の認定者・専門者数(放射線・検査・薬剤師・栄養・リハビリ)	士2名) NST専門療法 士(管理栄養士 1名) 認定理学療法 士(脳卒中)2名	認定與學療法 主理學中,2名 理學中,2名 定主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主	床検査技師2 名)	呼吸理学生 ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	型心導名記式(補吸)型的 查域師 查域師 查域所	調査時点の人数(常勤職員)	

\*無料低額診療事業とは、 低所得者などに医療機関が無料または低額な料金によって診療を行う事業です。 厚生労働省は、「低所得者」「要保護者」「ホームレ ス」「DV被害者」「人身取引被害者」などの生計困難者が無料低額診療の対象と説明して います。

ないよう。 窓口での一部負担金免除の基準として、(1)全額免除は1ヶ月の収入が生活保護基準の 概ね120%以下(一部免除は150%以下)と内規で定め、(2)患者からの申し出や患者の生活困窮を職員が知った場合に医療ソーシャルワーカーが面談し、公的制度や 社会資源の活用の可能性を検討したうえで、適合を判定することにしています。また、この制度の適用は生活が改善するまでの一時的な措置であり、無料診療の 場合は、健康保険加入または、生活保護開始までの原則1ヶ月、最大3ヶ月(一部負担の全額減免と一部免除は6ヶ月)を基準に運用しています。